

企画案内

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部 他科を知る会・新年会

一般臨床におけるうつ病の診断と治療

先生方におかれましては益々ご清栄のことと存じます。

さて、姫路・西播支部では、精神科領域をテーマに「他科を知る会」を企画しました。先生方の日常診療の参考にしていただけるものと思います。多数のご参加をお待ちいたしております。なお、研究会終了後新年会を予定しております。ぜひご参加ください。

日時 1月16日(土) 午後3時～5時
 会場 じばさんビル 6階601会議室
 姫路市南駅前町123 TEL/079-289-2832
 講師 室井整形外科・心療内科(たつの市) 高森 信岳 先生
 定員 60人(定員になり次第締め切らせて頂きます)
 参加費 無料
 ※終了後、新年会(会場未定、会費5000円程度予定)開催

うつ病の診断、治療は難しいと感じています。従来よりも、現在のうつ病の考えかたは広がっています。ストレス関連疾患である適応障害に伴う抑うつ状態も、職場環境の悪化から増加しています。長期間ストレスに暴露されるとうつ病に移行するケースがあります。産業保健の分野でもうつ状態で休職される方が増加しており、復職について産業医の判断が求められます。私たちは、休職者向けの集団認知療法を実施してストレスのコントロールを行っています。

臨床は経験医学です。うつ病の治療は抗うつ薬だけではなく、認知療法、心理療法との併用が重要です。ベテランのかかりつけの内科を専門とする先生方は、意識されていませんが心理療法の名人がおられることも事実です。学問的になりすぎず、一般臨床でのうつ病の対応について一緒に考えていきたいと思っております。(高森 記)

お問い合わせは協会事務局 小西まで TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

兵庫県保険医協会 FAX 078-393-1802
 姫路・西播支部 他科を知る会(1/16) 参加申込書

研究会 参加人数 【 人】(うち新年会参加 人)
 市区町名() 医療機関・施設名()
 代表者名()
 TEL() FAX()

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No.157 2009年12月15日発行



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子
 連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
 兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

秋のバスツアーを開催

京都の秋を満喫



京都・光明寺で記念撮影

姫路・西播支部は11月22日、恒例となった秋のバスツアー「紅葉のトンネルと鈴虫寺 洛西の名寺で紅葉狩り、友禅染め体験～錦秋の京都を訪ね、友禅染めに挑戦!」を開催し、職員、家族など38人が参加した。

(2面に続く)



(1面から続く)

朝早くに相生、姫路を出発したバスは、まず長岡京の光明寺を訪問、参加者は紅葉のトンネルを満喫しながら、境内を散歩した。

昼食の京風弁当を食べた後、バスは1年中鈴虫の音が聞こえると評判の華嚴寺(鈴虫寺)へ。参加者は、寺の住職の話聞いた後、境内に響く鈴虫の音に聞き入り、ひとつだけ願いを叶えてくれると言われるわらじを履いた地蔵に願い事をした。

ツアーの最後は、友禅染め体験。二条にある「丸益西村オリジナルの友禅染めを作成 屋」で、参加者は好きな絵柄を選び、ハンカチやふろしき、扇子などの素材に染料をすりこみ、オリジナルの友禅染め作品を作成した。

参加者からは「紅葉が美しく、旅の目的が達成できた」「友禅染めが楽しかった」「盛りだくさんのメニューでよかった」などの声が聞かれ、好評だった。

※次号に参加者の感想文掲載。



第219回幹事会から

11月21日(土) 於 姫路商工会議所 参加 7人

◆姫路・西播支部の会員数と組織率

644人 (医科 441人、組織率 74.7%)

(歯科 203人、組織率 44.6%)

◆情勢と運動対策、その他 新型インフルエンザへの対応について意見交換。新政権の政策について議論した。三井住友海上保険株式会社より所得補償保険、医師賠償責任保険の説明が行われた。

◆支部の活動・企画 1月16日(土)研究会「他科を知る会」など

次回幹事会は、1月16日(土)14時よりじばさんビルで開催。会員の先生はどなたでもご参加いただけます。

お問い合わせは、078-393-1807 小西まで。

投稿募集!

姫路・西播支部ニュースへの投稿を募集しています。趣味や日常お考えのことなどテーマは問いません。ぜひお寄せ下さい。



FAX: 078-393-1802 E-mail: konishi-s@doc-net.or.jp

姫路・西播支部担当事務局 小西まで

第76回評議員会

台風被害の支援に感謝

姫路・西播支部から宮本評議員が発言

11月15日に行われた協会第76回評議員会で、姫路・西播支部から佐用町の宮本美智子評議員が発言した。発言要旨は以下の通り。

8月9日の台風9号被害に対する協会の支援に心より感謝申し上げます。また、佐用町とともに甚大な被害を受けた町の医療機関に心からお見舞い申し上げます。

佐用町をおそった台風9号で、死亡18人、行方不明2人、町内約7千戸のうち774戸が床上浸水、576戸が床下浸水。河川の決壊、道路の寸断、JR姫新線の線路の損壊、崖崩れ、農地の埋没・流出、農作物被害など大変な被害をもたらした。

会員の状況では、町内12医療機関のうち5件が被害を受けた。3件は床上浸水と一部損壊、1件が床下浸水一部損壊。損壊がなかったところでも断水により診療ができないという状況に陥った。

3病院中2病院で床上浸水被害を受け、1病院は検査機器、カルテが水没するという甚大な被害が発生。これらの病院でも、8月16日には通常診療を実施するまで復旧が進んだ。他の医療機関でも8月中には診療を再開できたと思われる。

私の診療所は、被災を免れたので、翌日から午前診を行った。患者さんの状況では、熱中症や心的ストレスによる胃炎、胃潰瘍の増悪が多かった。高齢者では、心的ストレスにより身体状況が悪化、入院や施設入所を余儀なくされた人も多かった。患者さんから「医療機関で診療を受けている時だけが安心できる」と言われ、診療を通常通り行うことで、少しでも地域の方の支えになれたのではないかと考えている。

行政も心のケア相談室を常設し、医師会でもPTSD勉強会を開催。赤十字からはのべ100人の医師、看護師が常駐し、589人の診療にあたっていただいた。保険医協会もいち早く会員医療機関へのお見舞いや行政への要望活動、緊急貸付制度の設定など尽力いただいた。

佐用町の完全な復興までは、まだ時間がかかるが順調に復興を遂げつつある。保険医協会ははじめ、全国のみなさまの暖かい支援に感謝したい。



宮本 美智子評議員